

<特集> ~コロナ禍での学習~ **学びの環境**

昨年の初めから世界中で猛威を振っている新型コロナウイルス感染症により、学校の長期休業が余儀なくされるなど、教育の世界でも次々と大きな課題に直面しています。新型コロナウイルス感染症と共存しなければ

ならない時代に対応するため、「学校の新しい生活様式」に基づく取り組みや来年度から導入される1人1台タブレット端末、インターネットを活用した学習など、今後も子どもたちの学びを保障する学習環境の整備に取り組みます。

☎教育総務課 ☎70・5649

「学校の新しい生活様式」に取り組んでいます

学校では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗いの3つの基本などを守り、子どもたちが安心して学校生活を送れるように、教職員が一丸となって取り組んでいます。紹介する取り組み事例は、全校で実施しているのではなく、各校の実情に応じて取り組んでいるものです(2学期終了時点の状況を基に作成しています。感染状況の変化により、取り組みが変わる場合があります)。

☎教育指導課 ☎70・5660

登校

登校したら、教室に入る前に手洗いを徹底しています。担任の先生に健康観察票を提出して、全員の健康状態を確認しています。



健康観察票を点検している様子

授業

授業では原則マスクを着け、必要に応じてフェイスシールドを使用します。

机はできるだけ離し、教室の窓や扉は常に開けて換気しています。



休み時間

子ども同士の接触を避け、身体的距離を保ちながら過ごしています。教室に戻る際は、手洗いを徹底しています。

☎教育総務課 ☎70・5649



給食

手洗いを徹底し、グループにならず各自が前を向いて、会話をしないで食べています。



部活動

感染症対策を徹底した上で、活動しています。大会などは、来場者を制限するなど、規模を縮小して実施しています。



ボールを消毒している様子

消毒

スクール・サポート・スタッフが授業中や放課後にドアノブ、スイッチなど多くの人が触れる箇所を中心に消毒作業を行っています。

修学旅行

当初予定していた修学旅行は中止とし、小学校は6年生対象に11~12月に日帰り旅行を実施し、中学校は3年生対象に3月に1泊2日の京都旅行を計画しています。



運動会の座席の様子

学校行事

運動会・体育祭

中学校の体育祭は9月30日(水)、小学校の運動会は10月12日(月)〔雨天のため10月10日(土)からの延期〕に実施しました。各校、

感染症対策を講じた上で、できるだけ密にならないように、競技内容を工夫したり、時間を短縮したりするなどして行いました。学年ごとに時間を分けて実施した学校もあります。

GIGAスクール構想の取り組み

文部科学省では、児童・生徒1人1台のタブレット端末と学校ネットワーク環境(高速無線LAN環境)の一体的な整備により、全ての児童・生徒の資質・能力を一層確実に育成できる教育環境の実現を目指す、GIGAスクール構想を推進しています。



同構想を受け、市では、これからの情報化社会を生きていく上で基盤となる「情報活用能力」を育成するため、2年度中に、市立小・中学校の全ての児童・生徒を対象に、1人1台のタブレット端末を整備し、3年度からのICT機器を活用した学習を一層推進するため、同タブレット端末の調達や校内における通信環境の整備などを進めています。

☎教育総務課 ☎70・5649

オンライン学習教材を導入しました

3年度からの1人1台のタブレット端末の導入に向け、「eライブラリアドバンス」(オンライン学習教材)を導入しました。同教材は、学校での活用だけでなく、家庭での活用だけでなく、家庭のパソコンやスマートフォンなどを用いても学習することができます。

学校では、現在はパソコン教室のパソコンを使って学習していますが、4月から、一人一人が、タブレット端末を使って学習することができます。



- *小・中学校9学年分の教材(小学校5教科、中学校9教科)が収録され、5教科(国・社・算/数・理・英)については、どの学年のものでも学習することができます
- *同教材は、教科書のページで検索することができ、学習したい内容がすぐに見つかります
- *同教材には、ドリル教材が4種類あり、ヒントや解説付きの課題、手書き学習、テーマに沿った学習などが選択できます。一人一人に適した教材が自動で出題される「おすすめ学習」機能があります
- *中学生用の教材には、公立高等学校入学者選抜の過去問題が収録されています

☎教育研究所 ☎70・5659

小学校への音楽アウトリーチ事業

プロの演奏家が小学校へ生演奏をお届け♪

☎生涯学習課 ☎70・5670



小学校への音楽アウトリーチ事業とは、プロの演奏家が市内小学校の体育館へ出張して演奏をするものです。プロの演奏家による生の演奏を鑑賞することで、子どもたちの感性や創造力を育むことを目指しています。

演奏家は、市内に住んでいる方や市内で活動している方など、綾瀬市にゆかりのある方々です。子どもたちにとっては身近で素晴らしい演奏家が活躍していることを知る機会となり、演奏家にとっては活動の場を広げ、市の文化芸術活動の発展につながることから、平成29年度から同事業を実施しています。

同事業は、小学校への音楽アウトリーチ事業実行委員会を組織して、企画・運営などを行っています。演奏楽器の編成に応じて、いくつかのグループに分かれて演奏会を行うことで、毎年多種多様な楽器の演奏や、さまざまなジャンルの音楽を鑑賞できるプログラムとなっています。児童が参加できる体験プログラムや演奏楽器の紹介をすることで、音楽をより楽しんでもらえる演奏会になるように、毎年工夫を凝らしています。

感染症対策をした上での演奏会

今年度は、学年を分けて児童を分散させる開催方法で行い、マスク着用での演奏や、出演者の前にビニールパーテーションを設置するなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じることで、予定していた半数ほどの学校で開催することができました。

中止などで開催することのできなかつた学校にも演奏を届けるため、同事業の出演者による演奏を収めたDVDを作成し、配布しました。



今年度の演奏会(綾西小学校)